



七小見守り隊通信



<No9>

まもなく3月です。気温が高めの日が続き雪解けも進みそうです。もうすぐ春・・・の予感がします。

冬期間、路面凍結の日がありました。「滑るからね、気をつけてね」と一声。吹雪の日もありました。「髪が濡れるからフードをかぶった方がいいよ」と一声。

ある吹雪の日、「もうみんな行ったかな」と見守りを終えようとしたとき、遠くから歩いてくる黄色のランドセルカバーが見えました。1年生です。横断歩道を渡るとき、「おはよう。一人で歩いてきたのか。えらいな」と声をかけると、「もう遅刻ですか」と聞いてきました。時計を見て、「今8時2分だからまだ遅刻じゃないよ。急がなくていいからね。行ってらっしゃい」と言って見送りました。その子は、小走りに学校に向かいました。

また、ある日は、除雪の雪が道路脇に山になっています。低学年の子たちが数人登っています。子どもですから、そこに山があれば登りたくなります。声が届くところに来たら注意しなければと思っていたら、高学年の子たちが、「危ないから登らないで」と注意している声が聞こえました。登っていた子たちはすぐに山から下りました。高学年の子たちには、「注意してくれてありがとね」と声をかけました。

道路脇に雪の山ができての間は、少々緊張して見守り活動をしました。ドライバーからは、子どもの姿が完全に見えなくなるからです。子どもは、急に走り出すことがあります。ドライバーには、いきなり目の前に子どもが現れることになりま。この雪山もまもなくなくなるでしょう。事故なく春を迎えたいと願っています。

安全・安心な地域づくりのため

「ながら見守り」に参加しませんか。

「ながら見守り」って何？詳しくは、<No10>をご覧ください。

道路脇にできた雪の山





七小見守り隊通信



<No10>

「ながら見守り」って

地域の皆さんが、ウォーキングやジョギング、犬の散歩、買い物、花の水やりなどの日常活動を行いながら、防犯の視点を持って、子どもの見守りを行う活動です。

「ながら見守り」は、日常活動をしながら行う活動なので、誰にでもできるというメリットがあります。

地域の皆さんが、子どもの登下校時を中心に、それぞれの日常生活や仕事をしながら、無理なく子どもの安全に目を向けることで、子どもの安全を通じて地域の安全・安心だけでなく、犯罪の起きにくい雰囲気を生み出すことができます。

この時間帯に合わせて 登校（7:00～8:30頃） 下校（14:00～18:00頃）



- 犬の散歩をしながら見守る
- ウォーキングをしながら見守る
- ジョギングをしながら見守る
- 農作業をしながら見守る
- 花の水やり、手入れをしながら見守る
- 買い物の移動をしながら見守る
- （冬場は）雪かきをしながら見守る

★登下校時、「部屋の窓から子どもたちの様子を見守る」も大いに結構です。

大中山地区での見守り活動について情報提供がありましたので<No11>で紹介します。

見守りの視点を持って、意識して子どもたちに関わってくださっている方々の声です。

町内各地区に広げていきましょう。大切なことは、《できる人が・できるときに・できる範囲で》です。



七小見守り隊通信



<No11>

大中山地区での見守り活動について情報提供がありましたので紹介します。

家でテレビを見ながら、子どもの声が聞こえたら窓から外を見て様子を見るようにしています。

道路を歩いていたら、子どもの方から挨拶してくれました。うれしかった。それから気をつけて見るようになりました。

家の前を通る子どもに時々挨拶しても、ずっと下を向いて通り過ぎていました。それでも見かけたら声をかけてみるを何度も繰り返しました。数年たったある日、挨拶を返してくれました。うれしくて涙が出ました。うれしすぎて抱きついてしまいました。それから毎回挨拶してくれるようになりました。

挨拶を返してくれると、大人だってうれしいのです。



子どもたちに出たら声かけをしています。近所の子どもたちとは顔見知りになり、子どもたちから元気に挨拶して話しかけてくれます。自分も元気になります。

家の前で時々、登校時間より遅い時間に学校に行く子を見かけました。気になったので、声かけ挨拶をしています。「行ってらっしゃい！」「元気かい！」など声かけすると、「はい！」と元気に手を振ったりしています。頑張っている姿を見守っています。

犬の散歩をしていると、「触ってみたい」と寄ってきたりします。犬を通じて子どもたちと話したりします。

子どもにとって、ナナメの関係の大人の存在は大きいのです。